

ふれあい宅配



【野跡学区】

■世帯数：1,485 世帯

■人 口：3,479 人

■面 積：4.732 k^m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 日常的な買い物に行くための交通手段を持たない、“買い物難民”と呼ばれる人のために、野跡学区市営稲永荘において、買い物支援サービス「ふれあい宅配」を実施している。
- ・ 毎週火曜日及び金曜日の午前 11 時から午後 2 時の間、稲永荘の集会所にてタブレット端末を使用し、ネットスーパーを活用して買い物を行う。注文した商品は、翌日事業者により自宅に配達される。参加者数は約 100 人。

【住民への PR 方法】

チラシの各戸配布、回覧、掲示板への掲示

【アピールポイント】

食料品や日用品の買い物にも困っている“買い物難民”を支援するため、社会福祉協議会や企業と連携して、宅配サービスを行っている。

2 きっかけ、背景

「足腰が悪く買い物に行くのが不便」「重たい物が運べない」などの高齢者からの要望により、買い物支援ふれあい宅配が始まった。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
民生委員児童委員、保健委員
計約 20 人

(2) 他団体との協力

港区社会福祉協議会、企業と区政
協力委員で、「買い物支援プロジェク
ト会議」を設置

(3) 運営協力

各自治会の若い世代をリーダー
として育成

4 実施のスケジュール

H24 年 1 月 31 日 ふれあい宅配実施に向けた検討
を実施

4 月 28 日～ 11 月 1 日 買い物支援プロジェクト会議を
月 1 回、計 7 回開催

9 月 7 日 ふれあい宅配を開始

9 月 7・8 日 オープニングイベントを開催

以降毎週火・金曜日に実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・集会所で商品の注文を行うことを通じ、今まであまり関わりのなかった人たちと、一緒にお茶を飲みながら仲良く話すことができるようになり、住民間の助け合いの関係が構築できた。

(2) 苦労した点

- ・タブレット端末を利用して商品を注文するため、タブレット端末の利用や、ID・パスワードになじみのない方に参加してもらうこと。
- ・活動の担い手不足と他団体との協力体制を築くこと。

(3) 今後の課題・展望

- ・活動の継続と他団体との協力が今後の課題。
- ・買い物支援を通じて、新しいボランティアの仕組みや、高齢者の安否確認など地域福祉の推進につなげていきたい。

(4) アドバイス・メッセージ

- ・活動にあたっては、社会福祉協議会と連携して進めていくことが重要です。

